

事典 イギリスの民家と庭文化

英文学の背景を知る

三谷 康之 編 A5・440頁 定価(本体9,000円+税)

ISBN978-4-8169-2871-0 2021年3月刊行

- 英文学の背景となるイギリスの民家(住宅・建築)と庭について、その周辺トピックスも含めて詳説する“読む事典”です。
- 民家・住宅建築に関する構造や特徴、特有の用語、言い回し、周縁の文化について解説するとともに、これらが登場する小説・詩・随筆での場面を原文引用と翻訳で紹介。周縁の語彙、史実、文化、風俗習慣など、既存の辞書やガイド類では調べられない用語・事項を多数収録しました。
- カラー口絵のほか、本文中には573点におよぶ写真・図版を掲載、視覚的・直感的な理解に役立ちます。

【著者プロフィール】

三谷 康之 (みたに・やすゆき)

1941年生まれ。埼玉大学教養学部イギリス文化課程卒業。成城学園高等学校教諭、東洋女子短期大学英語英文科教授を経て、2002～10年まで東洋学園大学現代経営学部教授。1975～76年まで私学連盟並びに成城学園在外研究にて、イギリス及びヨーロッパにてフィールド・ワーク。1994～95年まで東洋学園在外研究にて、ケンブリッジ大学客員研究員。

主要著書

<単著>

『事典 英文学の背景——住宅・教会・橋』(1991年、凱風社)／『事典 英文学の背景——城廓・武具・騎士』(1992年、凱風社)／『事典 英文学の背景——田園・自然』(1994年、凱風社)／『イギリス観察学入門』(1996年、丸善ライブラリー)／『イギリスの窓文化』(1996年、開文社出版)／『童話の国イギリス』(1997年、PHP研究所)／『イギリスを語る映画』(2000年、スクリーンプレイ出版)／『イギリス紅茶事典——文学にみる食文化』(2002年、日外アソシエーツ)

<共著>

『キープ——写真で見る英語百科』(1992年、研究社)／『現代英米情報辞典』(2000年、研究社出版)

目次 (Contents)

まえがき (Preface)

凡例 (Guide to the Encyclopaedia)

第Ⅰ部 House Types 民家のタイプ

Cottage 「コテージ; 田園(風)の民家; 田舎家」

Semi-detached House; Semi-detached

「二戸建て住宅; 二戸連続住宅; 二軒一棟家屋」

detached house 「一戸建て住宅」/longhouse 「ロングハウス」

Terrace House; Terraced House 「テラス・ハウス」

back-to-back; back-to-back terrace 「背中合わせ型テラス」

flat 「(1) アパート; フラット (2) 分譲マンション」…

第Ⅱ部 House Design 民家のデザイン

Timber-Frame [Framed] Cottage [House]

「木骨造りのコテージ[家屋]」

cruck-frame (d) cottage [house]; cruck cottage [house] 「クラック造りのコテージ[家屋]」…

Roof 「屋根」

thatch; thatched roof 「わらぶき屋根」 slate roof; slated roof 「スレートぶきの屋根」…

House [Cottage] -Door & Porch

「民家[コテージ]の戸口と玄関」

doorcase; door-case 「戸口の枠」/door furniture [ドア付属品]…

第Ⅲ部 House Gardens 民家の庭

Front Garden 「前庭」

back garden 「裏庭」/garden boundary 「庭囲い; 庭の仕切り」/

garden door; garden-door 「ガーデン・ドア」/garden gate;

garden-gate 「庭木戸; 庭口; 庭門」/kitchen garden; kitchen-garden 「家庭菜園」…

第Ⅳ部 Supplement 補遺

1. Cottage Garden 「コテージの庭」

2. Cottage Painter [Artist] 「コテージの画家」

3. The Picturesque Movement 「ピクチャレスク運動」

付録

資料 (The Other Quotations)

本事典に引用した作家と作品の一覧

(A List of Authors Quoted in the Encyclopaedia)

参考書目 (Select Bibliography)

索引 (Index)


あとがき (Postface)

2021.2

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	事典 イギリスの民家と庭文化 —英文学の背景を知る	冊
		定価(本体9,000円+税) ISBN978-4-8169-2871-0	
		 9784816928710	

Semi-detached House; Semi-detached

二戸建て住宅; 二戸連続住宅; 二軒一棟家屋

単に'semi' (その複数形は'semis')ともいう。また、'semidetached'のスペルも用いられる。

共通の側壁のみで(on only one common sidewall)仕切られてはいるが、2軒がそこで(=横壁で)接続して、2軒で1棟の住宅をいう。左右対称で、不慣れな目には、全体として1軒の外観を呈する家屋と映る。もっとも、2軒でそれぞれ外壁などを色違いのペンキで塗り分けたりしていることもある。

無論、玄関口(house-door*)などは各々に付き、裏庭(back garden*)も同様に板塀(board fence*)やレンガ塀(brick wall*)などで、仕切り(garden boundary*)がなされてある。2階建て(two-storeyed house)が通例。

床面積は90~110㎡(27~33坪)が平均といったところで、間取り(position of the rooms)は、1階に、「居間」(sitting[living]room; lounge)、「食堂」(dining room)、「台所」(kitchen)、2階に、2~3室の「寝室」(bedroom)、「浴室」(bathroom)通常トイレ付き)、がまた通例である。

後述する'terrace house'を、より狭く、よりプライバシー(privacy)を守られたいとの理由から、嫌い、かといって、'detached house*' (一戸建て住宅)は経済的に無理という中流階級(middle class)が、比較的安価に求めることの出来る住宅として開発されたもので、当初は労働者階級(working class)などには、入手が困難であった。

19世紀に入るまでには、都市内から都市外、つまり、郊外(the suburbs)へと中流階級が移り住む傾向にあった。産業革命(the Industrial Revolution: 1760年頃~19世紀)が起こってからは、都市は人口増加が原因で、スラム街(slums)も増え治安不安定と非衛生をもたらしたからである。

その時流に登場したのが、「セミ・ディタッチト・ハウス」である。伝統的建物のデザインをするには小さ過ぎる家屋を、二戸を連続して一棟にし、伝統的デザインを施した住宅にするための手段が講じられたのである。第一次世界大戦(1914-18)の後も、第二次世界大戦(1939-45)の後も、このタイプの住宅は増えて今日い

『事典 イギリスの民家と庭文化—英文学の背景を知る』 内容見本

第1部 House Types・民家のタイプ

至る。その名称は19世紀の中葉に定着した。

ちなみに、ロンドンの人口流入を見てみると、1700年—約57万5千人、1800年—約98万人、1841年—約223万5千人と爆発的な増加である。

イギリスの住宅全体の内、このタイプは31%(1986年)、32%(1996年)という統計がある。

もうひとつちなみに、アメリカで'duplex'あるいは'duplex-house'といえば、2階建てで上下階が仕切られており、二世帯が別々になっている1棟の家屋(a two-family house)をいうが、このアメリカ英語を使って説明すれば、イギリスの「二戸建て住宅」というのは、'a side-by-side duplex (house)'(横に接続した[仕切られた]二世帯住宅)ということが出来る。

【用例】

'The semidetached houses, with a tin-roofed garage each'(それぞれにブリキ屋根のガレージが付いた二戸建て住宅)(D. Thomas: Who)/'he walked up the gravel path to the large, semi-detached house'(彼は砂利を敷いた庭徑を歩いて、その大きな二戸建て住宅へ向かった)(Wain: Hurry)/'a dark-looking, semi-detached house of yellow brick, three storeys high'(黄色いレンガ造りの3階建てで、暗い感じの二戸建て住宅)(Orwell: Daughter)



16. stucco semi-detached house (化粧漆喰を塗った二戸建て住宅)。前庭(front garden*)はレンガ塀(brick wall*)で仕切られてある。Highgate, London [E]

■三谷康之著・既刊

イギリス中世武具事典—英文学の背景を知る

A5・460頁 定価(本体9,250円+税)
ISBN978-4-8169-2725-6 2018.6刊

イギリスの教会事典—英文学の背景を知る

A5・670頁 定価(本体15,000円+税)
ISBN978-4-8169-2648-8 2017.3刊

イギリスの城廓事典—英文学の背景を知る

A5・480頁 定価(本体8,200円+税)
ISBN978-4-8169-2440-8 2013.11刊

イギリス「窓」事典—文学にみる窓文化

A5・480頁 定価(本体9,143円+税)
ISBN978-4-8169-2075-2 2007.12刊

事典・イギリスの橋—英文学の背景としての橋と文化

A5・280頁 定価(本体6,600円+税)
ISBN978-4-8169-1877-3 2004.11刊